



笑顔あふれるまちづくり

いいぬま雅子

日本共産党品川区議会議員区政報告

NO. 394. 2014. 8. 10.

住民合意ない放射2号線道路は中止を

「一言も発言なく請願反対はひどい」

武蔵小山の環境を考える会の請願審査報告

公聴会、聴聞会を開き意見を聞くこと 説明会はやり直すこと

いいぬま質問… 防災に役立たない道路を「防災のための命の道路」と住民をだました点、道路建設の真の目的である「交通の円滑化」を隠し説明をしてこなかった点から今までの説明は無効。私は住民の意見を聞く場をきちんと持つよう求めました。

区の答え…沿道不燃化とともに木密地域の安全を図る。「交通に円滑化」についてはパンフレットを配った。今後個別の説明を行う。(公聴会開催は答えず)

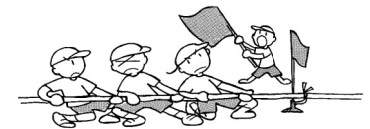
住民合意がない計画はやめるべき

いいぬま質問… 都が補助29号線の2区画の事業認可を強引にとったため、101人の方々が国土交通省に不服申請を提出しました。ここには立ち退きや今後の生活の不安、大気汚染・騒音・振動・日照などの環境変化や商店街がなくなる心配、および住民説明会でのゴマカシに対する怒りが綴られていました。私は、住み続けたい住民を追い出す、住民合意のない計画はやめるべきと主張しました。

区の答え…理解いただくよう相談窓口等で努力する。移転先での同等の生活は無理と認識している。

6月30日建設委員会に、「放射2号、補助28・29号線道路計画中止を求める請願と陳情」2件が提出され審査を行いました。傍聴席10席では足りず、住民の方々の必死さを実感しました。

1時間強の質疑の間、私以外の委員は、質問も意見も言わず「不採択」としました。傍聴者からは「議員の仕事をしていない」と怒りの声が・・・報告します。





なぜ区長は道路計画を進めるのか

いいぬま質問…放射2号、補助29号線が急に動き出したきっかけは、都からの「整備を必要とする路線は」問い合わせに対し濱野区長が「整備が必要」と回答したからです。北区長「候補区間から除外してほしい」杉並区長「困難と考えます」足立区長「住民との関係作りが不可欠」と住民合意など条件整備が整っていないことを理由に希望しなかった区と対照的な品川区です。濱野区長の責任は重大と追及しました。

区の答え…都市計画道路として行うのが前提。燃え広がらない安全なまちをつくる上で必要。(同じ答えの繰り返し)
(道路と沿道開発とセットで行えば、喜ぶのはゼネコン。税金の無駄遣いです。)

2002年品川区議会は、全会派一致で29号線道路計画廃止を都知事に求めました。
防災といえば誰も反対できないとばかり、都と区が強引に進める計画を、なぜ自民、公明、民主は推進派に変わったのでしょうか。私の最後の質問に対し、公明党委員長が、「請願項目にないので取り上げない」と終了。自、公、民の委員は意見を言わずに「不採択」としました。区民の代表として区政をチェックするのが議員の仕事ですが・・・私はもちろん「採択」賛成を主張しました。
説明会参加者は「人口も交通量も減っている。道路は必要ない」「周辺が燃え尽き道路だけが残る計画より、住宅や上下水道の耐震化、公園作りをすすめて」と発言しています。世論は変わっています。元気に運動を広げましょう。